

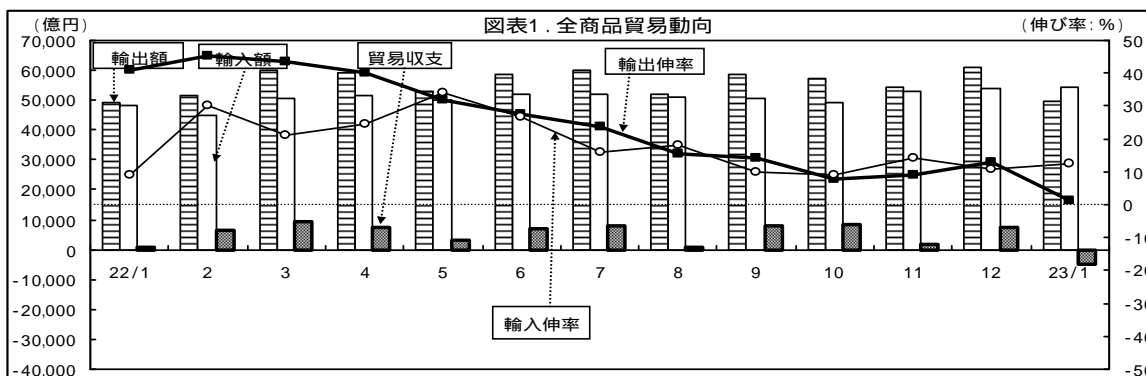
最近の機械貿易動向(平成 23 年 1 月)～機械輸出、2%台の伸びに大幅鈍化～

2011.3.17. 日本機械輸出組合

平成 23 年 1 月の機械輸出額は、3 兆 1,952 億円、対前年同月比 2.7%増と前月より大幅に鈍化した。これは、全地域で 1 桁以下の低い伸びとなったこと、旧正月の影響で、中国の伸びが大きく鈍化し、比較的、好調だった NIES/ASAN 向けがマイナス(2.8%減)になったことなどが要因である。2 月の機械輸出は、対ドルレートで 82.5 円、対ユーロで 112.1 円の円高となり、円建輸出額では 5.4%程度の減少要因となる。このため、実質伸び率を 1 月の 9.3%増とすると、営業日は同じなので、前年比 4%増程度の伸びになると予想される。因みに、2 月上中旬の全商品輸出額は 8.6%増である。

1. 全商品貿易動向～輸出伸び1%台に大幅鈍化、貿易収支 24 ヶ月ぶりの赤字～

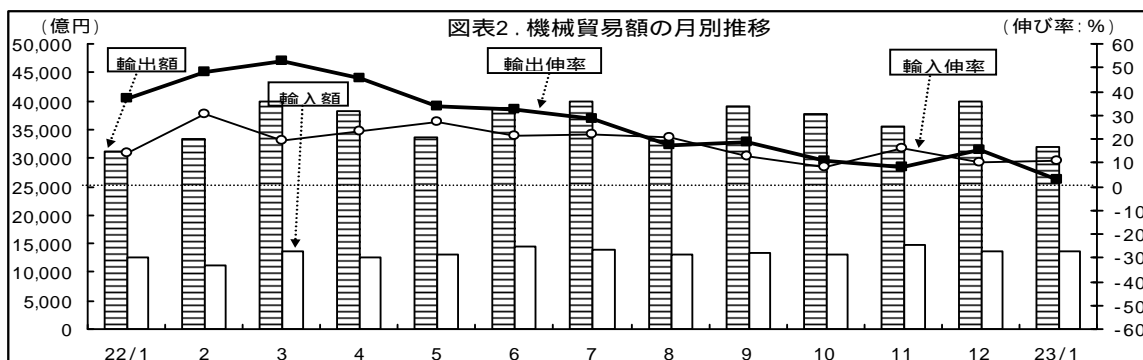
- 平成 23 年 1 月の全商品輸出額は 4 兆 9,703 億円、前年同月比(以下同じ)1.4%増と昨年 12 月の 12.9%増から大幅に鈍化し、2 ヶ月ぶりに 1 ケタ台の低い伸びとなった(11 月 9.0%増)。商品別では、全輸出額の 20%を占める一般機械(19.3%増)が 2 ケタの高い伸びとなったが、9%の化学製品(0.3%増)、24%の輸送用機器(0.2%増)、17%の電気機器(7.5%減)が微増あるいはマイナスとなったことから全体として低い伸びとなった。
- 輸入額は 5 兆 4,456 億円、12.5%増と前月(10.6%)を上回り、3 ヶ月連続の 2 ケタ増となった。これは、8%の鉄鉱石等原料品(20.5%増)、鉄鋼等素材製品(16.1%増)、30%の鉱物性燃料(15.5%増)、13%の電気機器(12.8%増)が伸びたためである。
- この結果、1 月の貿易収支は、輸出に比べ、輸入が大幅に伸び、平成 21 年 1 月以来 24 ヶ月ぶりに貿易赤字(4,763 億円)となった。



2. 機械貿易動向

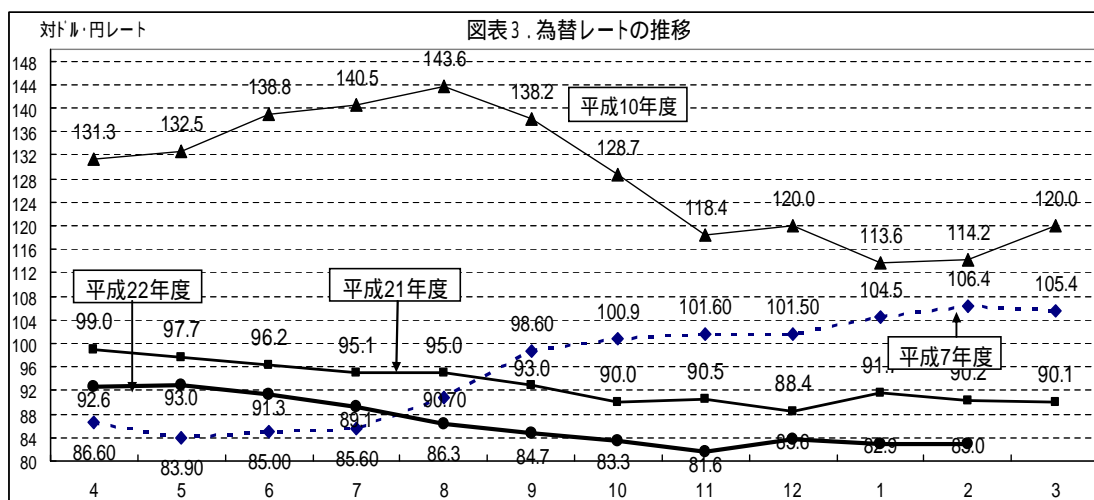
(1) 機械輸出入動向～機械輸出も 2%台の低い伸び、輸入は 2 ケタ台を維持～

- 全商品輸出額の 64%を占める 1 月の機械輸出額は 3 兆 1,952 億円、2.7%増と前月(12 月 15.3%)より大幅に鈍化し、2 ヶ月ぶりに 2%台の低い伸びとなった。この輸出額はリーマンショック以前の 08 年 1 月の輸出額に比べ 73%(12 月 78%)と回復速度を緩めた。一方、全商品輸入額の 25%を占める機械輸入額は、1 兆 3,788 億円、10.7%増と 3 ヶ月連続で 2 ケタ台を維持した(12 月 10.1%増)。輸入額はリーマンショック以前の 80%と回復基調にある(12 月 82%)が、前月から鈍化した。



(2) 為替動向・営業日～対ドル・ユーロ高で1月は6.6%、2月は5.4%の円建減少要因～

- ・平成23年1月は1ドル = 82.8円と前年が円安に動いたため前年比で9.7%の大幅な円高となった。対ユーロ = 109円となり17.4%の大幅な円高となった。この結果、営業日は前年と同じであるので、円建輸出額では6.6%の大きな減少要因となった。このため、1月の機械輸出伸び率は2.7%増であったが、実質伸び率は9.3%増となり12月より約半減した(12月19.5%増)。
- ・2月は1ドル = 82.5円と前年比で8.5%の大幅な円高が続き、対ユーロ = 112.1円とやや円高が緩んだが11.1%の大幅な円高が続いている。この結果、営業日は前年と同じであるので、円建輸出額では5.4%の減少要因となった。
- ・3月は、対ドルが現状の83円とすれば7.9%の円高が、対ユーロでも現状の114円とすれば7.2%の円高が続き、あわせて円建輸出額の4.7%の減少要因となる。営業日は前年と同じである。



(3) 地域別動向～好調だった NIES/ASAN 向けが 14 ヶ月ぶりにマイナス成長～

- ・1月は前月に比して伸び率が大幅に鈍化したが、最も大きな伸びとなったのが機械輸出額の18%を占める中国向けで、機種では全体の20%を占める半導体製造装置等産業機械(28.1%増)、工作機械(44.8%増)、陸用内燃機関(38.9%増)が好調で、8.6%増となった。しかしながら平成21年11月以来14ヶ月ぶりの1ケタ台の低い水準となった。これは、2月早々に旧正月となるため、輸出を控えたことが大きい。次が20%を占める北米向けで、業種では全体の18%を占める半導体製造装置等産業機械(54.6%増)、建設機械(3.8倍増)、工作機械(74.5%増)、陸用内燃機関(56%増)が好調であったが、50%を占める自動車マイナスで、7%増と2ヶ月ぶりに1ケタ台に低下した。13%を占める欧州向けは、業種では全体の18.5%を占める半導体製造装置等産業機械(10.6%増)、工作機械(80.4%増)、建設機械(45.3%増)、ベアリング(41.6%増)が好調で、2.2%増であったが米国同様2ヶ月ぶりの1ケタ台の低い水準となった。22%のその他地域向けでは、ロシア・東欧(69.9%増)、大洋州(3.6%増)向けが伸びたが、インド、中近東、中南米は前年比マイナスとなり、機種では、乗用車(8.3%増)、建設機械(47.8%増)、産業機械(16.1%増)等が増加したものの重電気機械(22.4%減)、民生用電子機械(17.5%減)、産業機械(6.5%減)等のマイナスが響き、1.6%増となった。
- 一方、27%と最大輸出地域の NIES/ASEAN 向けは、輸出先では、シンガポール(21%減)、ベトナム(18.7%減)、香港(15.6%減)向けが、業種では電子デバイス(13.6%減)、船舶(27.8%減)、民生用電子機械(16.4%減)が減少し、2.8%減と14ヶ月ぶりにマイナス成長となった。これも旧正月の影響が大きい。

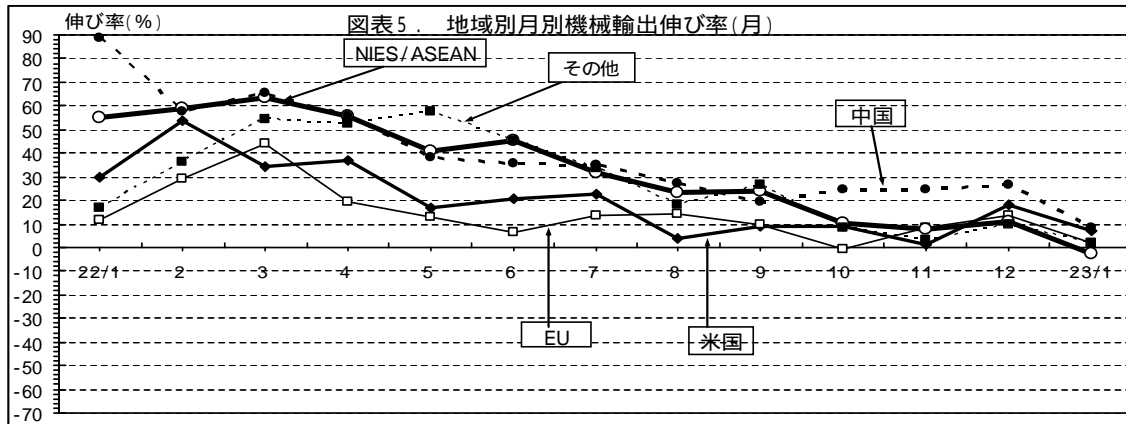
地域別に、リーマンショック以前の08年1月の輸出額と比較すると、中国向けが水準を超え、NIES/ASEAN 向けが79%、EU、北米、その他地域向けは未だ50～60%台の水準である。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2010/11			2010/12			2011/1			対08年 1月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	35,390	8.4	100	39,987	15.3	100	31,952	2.7	100	0.73
北米	7,436	1.5	21.0	8,247	17.9	20.6	6,384	7.0	20.0	0.64
EU	4,630	8.7	13.1	5,009	13.4	12.5	4,212	2.2	13.2	0.56
NIES/ASEAN	9,928	7.9	28.1	11,161	11.2	27.9	8,669	2.8	27.1	0.79
中国	6,764	24.4	19.1	8,110	26.2	20.3	5,713	8.6	17.9	1.14
その他	6,632	3.0	18.7	7,460	9.4	18.7	6,975	1.6	21.8	0.68

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2010/10		2010/11		2010/12		2011/1	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,784	1.4	1,737	2.1	1,957	7.4	1,618	7.3
台湾	2,031	19.0	1,846	10.7	2,032	10.2	1,631	2.9
香港	1,815	1.4	1,570	8.3	1,894	13.4	1,287	15.6
タイ	1,665	22.3	1,541	21.5	1,683	18.0	1,356	6.0
シンガポール	1,003	16.0	1,038	18.7	929	4.5	899	21.0
インドネシア	779	48.6	677	31.1	864	33.0	538	0.1
マレーシア	807	7.2	744	6.1	953	27.0	670	7.5
フィリピン	503	6.1	493	10.2	495	8.8	441	1.3
ベトナム	277	13.6	245	8.1	316	0.9	202	18.7
その他地域								
中南米	2,519	4.7	2,157	8.6	2,550	9.3	2,514	7.2
中近東	1,292	14.1	1,265	19.7	1,585	5.9	1,100	14.8
大洋州	1,172	0.9	1,018	0.4	965	7.2	1,086	3.6
ロシア東欧等	1,190	66.0	950	56.3	1,020	52.3	1,089	69.9
アフリカ	723	41.5	696	18.0	686	11.8	767	0.9
インド	434	30.1	422	33.5	476	16.1	298	18.2

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 前年比2ケタ増は7業種に留まり、9業種がマイナス ~

・業種別では、全19業種中10業種が前年比プラス、うち10%以上の伸びとなったのは7業種で、前月より5業種減少した。一方、マイナスは9業種で前月より6業種と大幅に増加した。

全体の30%を占める自動車は0.9%増と微増に留まり、18%の産業機械(21.5%増)は好調なもの、電子デバイス(12.9%減)、船舶(2.7%減)、軽電気機械(5.2%減)がマイナスとなり、機械全体の伸び率低下の原因となった。

・業種別に08年1月の輸出額と比較すると、リーマンショック以前の水準を超えたのは医療機械、ベアリングの2業種で、光学機械が90%台、産業機械、重電気機械、建設機械、陸用内燃機関が80%台であるが、自動車、民生用電子機械、通信機械、電子計算機、農業機械、産業車両は未だ40~60%台である。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2010/11				2010/12				2011/1				対08/1 比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	11,522	4.0	32.6	自動車	13,005	13.9	32.5	自動車	9,828	0.9	30.8	0.61
産業機械	6,305	21.0	17.8	産業機械	7,478	27.5	18.7	産業機械	5,709	21.5	17.9	0.87
電子デバイス	2,999	3.2	8.5	電子デバイス	3,353	0.0	8.4	電子デバイス	2,761	12.9	8.6	0.75
民生用電子機械	1,891	11.0	5.3	民生用電子機械	1,868	2.8	4.7	船舶	2,693	2.7	8.4	1.09
軽電気機械	1,871	7.5	5.3	軽電気機械	2,176	13.1	5.4	軽電気機械	1,653	5.2	5.2	0.75
船舶	1,656	3.8	4.7	船舶	1,576	10.1	3.9	民生用電子機械	1,446	12.9	4.5	0.55
重電気機械	1,748	6.1	4.9	重電気機械	1,945	8.8	4.9	重電気機械	1,445	0.4	4.5	0.84
光学機械	1,110	5.2	3.1	光学機械	1,315	13.2	3.3	軽機械	1,056	6.5	3.3	0.70
軽機械	1,176	18.8	3.3	軽機械	1,384	15.4	3.5	光学機械	1,049	3.7	3.3	0.91
建設機械	1,001	64.2	2.8	建設機械	1,243	55.9	3.1	建設機械	923	57.7	2.9	0.81
電子計算機	496	22.2	1.4	電子計算機	543	18.5	1.4	工作機械	503	63.0	1.6	0.73
通信機械	530	9.0	1.5	通信機械	584	3.9	1.5	通信機械	461	10.6	1.4	0.58
工作機械	717	154.3	2.0	工作機械	787	109.1	2.0	電子計算機	409	24.1	1.3	0.45
ペーリング	360	35.1	1.0	ペーリング	408	33.2	1.0	ペーリング	329	19.8	1.0	1.07
陸用内燃機関	361	62.0	1.0	陸用内燃機関	431	52.6	1.1	陸用内燃機関	328	38.0	1.0	0.88
医療機械	322	3.9	0.9	医療機械	373	1.5	0.9	医療機械	262	10.3	0.8	1.17
繊維機械	193	63.6	0.5	繊維機械	223	58.6	0.6	繊維機械	146	13.1	0.5	0.76
農業機械	146	10.0	0.4	農業機械	171	3.1	0.4	農業機械	143	3.6	0.4	0.67
産業車両	129	46.4	0.4	産業車両	140	44.0	0.4	産業車両	102	32.0	0.3	0.54
19業種合計	34,533		97.6	19業種合計	39,003		97.5	19業種合計	31,246		97.8	0.72

は、2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。

(5) 機種別動向 ~ 半導体製造装置 2 倍増、工作機械、建設機械好調、電算機 4 ヶ月連続マイナス
 ・伸び率上位機種は、中国、北米、韓国・台湾等全世界向け半導体等製造装置(2.15 倍)、中国、韓国・台湾、北米等向け工作機械(63%増)、その他、中国、北米向け等建設機械(57.7%増)、北米、EU、中国向け等産業用ロボット(51.1%増)、中国、北米、EU 向け等陸用内燃機関(38.0%増)、中国、その他、韓国・台湾向け等運搬機械(32.3%増)、その他、ASEAN、北米向け等産業車両(32%増)、その他、EU、北米向け等発電機(20.9%増)、EU、北米、韓国・台湾向け等ペーリング(19.8%増)、韓国・台湾、ASEAN、北米向け等電気・電子計測器(16.7%増)などである。

一方、最も落込み幅が大きいのが、据置型 VTR(38.9%減)、電子計算機(24.1%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率、10機種以内)

(単位:億円)

2010/11			2010/12			2011/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	717	154.3	工作機械	787	109.1	半導体等製造装置	1,590	115.0
産業用ロボット	87	91.8	産業用ロボット	96	74.3	工作機械	503	63.0
半導体等製造装置	1,414	70.5	半導体等製造装置	1,751	66.6	建設機械	923	57.7
建設機械	1,001	64.2	繊維機械	223	58.6	産業用ロボット	75	51.1
繊維機械	193	63.6	建設機械	1,243	55.9	陸用内燃機関	328	38.0
陸用内燃機関	361	62.0	電子応用装置	65	55.7	運搬機械	191	32.3
産業車両	129	46.4	陸用内燃機関	431	52.6	産業車両	102	32.0
電気・電子計測器	374	37.5	産業車両	140	44.0	発電機	90	20.9
ペーリング	360	35.1	ペーリング	408	33.2	ペーリング	329	19.8
分析・試験・検査機	645	21.5	電気・電子計測器	423	32.1	電気・電子計測器	315	16.7
機種合計	5,281	14.9%	機種合計	5,567	13.9%	機種合計	4,446	13.9%

は、2ヶ月連続で上位機種。機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円)

2010/11			2010/12			2011/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	118	53.0	据置型VTR	9	32.3	据置型VTR	8	38.9
電子計算機	496	22.2	電子計算機	543	18.5	電子計算機	409	24.1
デジカメ	764	19.1				民生電子部品	716	13.7
						電子デバイス	2,761	12.9
						医療機械	262	10.3
機種合計	1,378	3.9%	機種合計	552	1.4%	機種合計	4,156	13.0%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内。*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～1月は10.7%増と伸び率横ばい、電子デバイス、民生電子部品、航空機マイナス～

・1月の機械輸入額は10.7%増と伸び率はほぼ横ばいであった。その要因は、TV、乗用車、白物家電、携帯電話は大きく伸びたが、 二大輸入機種の一つの電子デバイス(1.5%減)、航空機(34.7%減)、民生用電子部品(3.2%減)が軒並みマイナスとなり前年を下回ったこと等による。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、TV、携帯電話、白物家電、医療機器、時計、エアコン、ラジオとなっている。

・地域別機械輸入額は、全体の約42%と最大の輸入先の中国(16.2%増)、ASEAN(9%増)、韓国・台湾13.8%増、北米(8.9%減)、EU(18.0%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2010/11				2010/12				2011/1			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,726	4.7	11.8	電子計算機	1,712	7.9	12.5	電子計算機	1,794	6.7	13.0
電子計算機	1,601	6.6	10.9	電子デバイス	1,553	6.6	11.4	電子デバイス	1,685	1.5	12.2
TV	850	154.6	5.8	TV	709	74.7	5.2	TV	596	61.8	4.3
重電気機械	670	6.8	4.6	重電気機械	609	9.8	4.5	重電気機械	664	13.9	4.8
自動車部品	662	10.1	4.5	自動車部品	603	13.7	4.4	自動車部品	638	6.3	4.6
乗用車	590	9.4	4.0	乗用車	583	14.9	4.3	乗用車	466	32.7	3.4
白物家電	565	22.0	3.9	白物家電	500	17.0	3.7	白物家電	478	23.2	3.5
医療機器	457	10.3	3.1	携帯電話	435	51.0	3.2	携帯電話	438	59.5	3.2
携帯電話	404	23.2	2.8	医療機器	431	12.2	3.2	医療機器	450	8.2	3.3
光学機械	382	17.7	2.6	光学機械	333	2.5	2.4	民生用電子部品	336	3.2	2.4
航空機	365	21.1	2.5	民生用電子部品	330	6.8	2.4	光学機械	333	14.7	2.4
民生用電子部品	347	11.8	2.4	航空機	286	46.2	2.1	航空機	224	34.7	1.6
12機種合計	8,272		56.4	12機種合計	8,084		59.1	12機種合計	8,102		58.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械

以上